



第 41 回地域安全学会研究発表会(秋季)に参加しました(2017/11/10-11)

場所：静岡県地震防災センター（静岡県静岡市）

参加者：佐藤翔輔准教授，戸川（M2），馬場（M1）

11月10日(金)～11日(土)の2日間、静岡県地震防災センター（静岡県静岡市）で地域安全学会が主催する「第41回地域安全学会研究発表会（秋季）」が開催されました。同学会は、生活者の立場から地域社会の安全問題を考え、地域社会の安全性の向上に寄与することを目的としている学会であり、自然科学ばかりでなく、人文社会科学を含めた多方面のあらゆるジャンルのテーマを対象としています。年に2回、学術講演会が行われ、研究発表による情報共有や交流が行われています。当研究室からは、教員が査読論文、教員・学生が一般論文（ポスター発表）の研究発表を行いました。各発表者の講演題目等は次の通りです：

【査読付き論文】

- 佐藤翔輔，平川雄太，新家杏奈，今村文彦：災害伝承は津波避難行動を誘引したのかー陸前高田市における質問紙調査を用いた事例分析ー
- 浅利満理子，中川政治，佐藤翔輔：宮城県における震災学習プログラムに関する現状分析ー東日本大震災と津波災害から6年間の震災伝承の特徴ー

【一般論文（ポスター）】

- 寅屋敷哲也，松川杏寧，佐藤翔輔，藤生慎，杉安和也：「地域安全学 夏の学校 2017 ー基礎から学ぶ防災・減災ー」：地域安全学領域における若手人材育成 その2
- 川見文紀，松川杏寧，佐藤翔輔，立木茂雄：仮設住宅入居期間に影響を与える要因についての基礎的分析ー名取市の入退去日データを用いた生存時間分析からー
- 戸川直希，佐藤翔輔，今村文彦，遠藤匡範，岩崎雅宏，皆川満洋：2016年11月22日福島県沖地震津波発生時の宮城県亘理町における避難行動の実態ー東日本大震災の経験や津波避難訓練との関係ー ***優秀発表賞***
- 馬場亮太，佐藤翔輔，今村文彦：地区津波避難計画の作成手法と特徴に関する調査・分析



佐藤翔輔准教授



戸川（M2）



馬場（M1）

（文責：戸川）